

認知症に関する活動計画（概要）

熊本県作業療法士会では、平成27年度に認知症プロジェクトチームとして始動し、令和2年度より事業部認知症班に組織改変して活動を行っている。また、認知症の人と家族の会（熊本県支部）との交流も継続しており、連携事業への作業療法士の参加は無くてはならないものとなっている。更なる活動部員の拡大を図っていくことで、今後も連携事業を継続出来る体制作りを行っている。

認知症の人と家族の会との連携事業

毎月第3日曜日は若年性認知症の当事者及び家族が集まる「みどりの小路」に会員を派遣している。令和5年3月19日には『オレンジパーク』と題して、認知症の有無に関わらず楽しむことをコンセプトに、フラワーアレンジメントや輪投げ、綿菓子作り、お抹茶体験などの体験型イベントを合同開催した。また、認知症の人本人の思いや活動を発信する『認知症オレンジ大使』の方2名にもご参加頂き、盛況の中終わることが出来た。



（オレンジパークの様子）